

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	アジア・エネルギー安全保障セミナー		<b>担当部局庁</b>	経済局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度		<b>担当課室</b>	経済安全保障課		課長 大隅 洋		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	A-1 経済安全保障の強化				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項		<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際社会における有限な資源の適切な開発・利用や資源産出国の持続的な発展を目指す多国間の取組が進展しつつある。我が国としても、資源・エネルギー・安全保障の強化に向け、今後の我が国の多国間取組への政府・企業の貢献のあり方について議論・検討する機会を設け政策に反映させる。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	近年、資源・エネルギーを巡る情勢が大きく変化しつつある。これは、新興国・途上国の資源需要の増大、資源ナショナリズムの昂揚、低炭素社会への移行等によるもので、資源価格の歴史的な乱高下をはじめ、様々な動きが見られる。こうした中、資源開発の現状と課題を概観し、我が国を含む国際社会による責任ある資源開発のあり方、及び再生可能エネルギー等について考えるためのセミナーを開催する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	7	5	5	4	4	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	7	5	5	4	4	
	執行額	3	4	3				
	執行率(%)	47.3%	74.8%	56.6%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	聴衆者及び国民(ターゲット)に対して、日本のエネルギー強化についての理解及び支持促進することを目標とする。 成果実績及び達成度を客観的に示すことは困難であるが、招待者に対する参加者状況をその指標とする。	成果実績	名	110	150	115	100	
		達成度	%	100	100	100		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成22年度は「再生可能エネルギーの利用の促進に向けて:IRENAへの期待」をテーマとし、我が国が考えるIRENAのあるべき姿、及びIRENAが再生可能エネルギー利用促進に向けて各種プロジェクトにどのように関与すべきか討議を行い、参加者(約100名)のIRENAに対する理解促進のため有意義な場となった。	活動実績 (当初見込み)	開催回数/年	1	1	1	—	
				( 1 )	( 1 )			
<b>単位当たりコスト</b>	2,645(千円/1回)		算出根拠	年1回開催の実績額について算出。				
<b>平成23年度 (単位:千円) 予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費	3,767	3,633					
	計	3,767	3,633					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度は「再生可能エネルギーの利用の促進に向けて：IRENAへの期待」をテーマに、再生可能エネルギー及び国際再生可能エネルギー機関(IRENA)に対する国内の理解を深めるとともに、アジア太平洋地域からのIRENAへの加盟の拡大の一助となることを目的としてワークショップを開催。諸国において進んでいるプロジェクトや、本邦企業が関わる案件の紹介をするとともに、再生可能エネルギー分野における世界の取組について現状報告がなされ、出席者の再生可能エネルギー及びIRENAに対する理解を促進する良い機会となった。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し等による減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直し等による減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省  
2.7百万円

〔アジアにおけるエネルギー安全保障の強化につき経験、知見を有する我が国がリードし、中長期的なアジア地域のエネルギー安全保障強化のための方策について官民一体となり意見を交換し、検討するためのセミナーを開催する〕

【一般競争入札】

A.(株)エム・プラスコンベンション社  
1.7百万円

〔上記概要のセミナー開催につき、外務省より  
委嘱契約の上実施する。〕

【見積り合せ】

B.(社)国際交流サービス協会  
0.8百万円

【外国送金】

C.招聘者  
0.2百万円

〔招聘者の訪日往復航空賃のみ  
在外公館を通じ現地にて購入〕

D.(株)楽天トラベル  
0.1百万円

〔招聘者の宿泊先及び食事〕

E.(有)信栄サービス  
0.2百万円

〔自動車借り上げ〕

F.室谷産業株式会社  
0.1百万円

〔看板等手配〕

G.(株)東京ビッグサイト  
0.3百万円

〔レセプション手配〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(株)エム・プラスコンベンション社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	招聘者宿泊費、食事、自動車借り上げ等	1.7			
計		1.7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エム・プラスコンベンション社	セミナー全般運営業務	1.7	5	79%
2					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	アジア・エネルギー安全保障セミナー出席するための旅費	0.8	随意契約	100%
2					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	招聘者	アジア・エネルギー安全保障セミナー出席するための旅費	0.2	—	—
2					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)楽天トラベル	アジア・エネルギー安全保障セミナー出席の宿泊費及び食費	0.1	—	—
2					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)信栄サービス	自動車借り上げ費	0.2	—	—
2					

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	室谷産業株式会社	看板等手配	0.1	—	—
2					

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京ビッグサイト	レセプション手配	0.3	—	—
2					